

もしもに備える「着衣水泳」



ひばり幼稚園では、年中組・年長組の子どもたちを対象とした「着衣水泳」の活動が行われました。これは、夏休み中に増える水の事故に備え、子どもたちが命を守る行動を学ぶことを目的に、毎年この時期に実施している大切な行事のひとつです。

当日は、いつもとは異なり、子どもたちはシャツやズボンなど、普段着に近い服を着たままプールに入りました。「いつものプールより重たい!」「歩くのも大変!」と、衣服を身につけたまま水に入ることの大変さを実感しながら、驚きの声を上げる子どもたち。

講師の先生からは、水に落ちたときにあわてずすぐに岸に戻る練習、そして「浮く」「待つ」「助けを呼ぶ」という大切な行動について、わかりやすく教えてもらいました。

夏の安全を守る体験学習での学び



「もし川に落ちちゃったら、こうやって待てばいいんだね」「バシャバシャしないほうがいいって初めて知った」と、自らの体験を通して学びを深めていく姿が見られました。

水遊びやプールなど楽しい思い出がたくさんできる夏だからこそ、万が一の事態を想定した実践的な学びとなりました。

また、この活動は保護者の方にも参観していただき、水辺で過ごす時のお約束を家族と一緒に確認していただく機会にもなりました。

ひばり幼稚園では、こうした日々の取り組みの積み重ねが、子どもたちの生きる力へとつながっていくと考えています。

夏休みを迎えた今、「楽しいだけじゃなく、安心も一緒に持って過ごしてほしい!」そう願いを込めて実施された着衣水泳。子どもたちの表情の中に、確かな成長のまなざしが光った一日でした。

ひばり新聞



号外

発行月

7月

夏の夜空へ届け、七夕の願い



七月七日の七夕に向けて園内には大きな笹が飾られ、子どもたちが心を込めて作った色とりどりの飾りや短冊が一面に彩られました。

この日のために各クラスでは、折り紙で作る星やちょうちん、天の川を模した飾りなど、さまざまな制作活動に取り組んできました。「お願いことが叶いますように」と話しながら、子どもたちはそれぞれの願いを書いた短冊を自分の手で笹に結びつけました。

年齢ごとに個性あふれる作品が並び、年長児の中には「自分で短冊に字をきれいに書けたよ!」と誇らしげに話す子の姿も。

園内は、子どもたちの笑顔とともに、この時期だけの特別な、どこか幻想的な雰囲気にも包まれました。

子どもたちの願いが、夏の夜空へまっすぐ届きますように――。

からだってふしぎ! メディカルタイム



ひばり幼稚園では、子どもたちが楽しみながら体のしくみや健康について学ぶ「ひばりメディカルタイム」が行われました。今回は子どもたちにも身近な「うんち」をテーマに、健康への関心を育む学びの時間を過ごしました。

子どもたちは、「うんちはどこから出てくるの?」といった身近な疑問に目を輝かせながら参加。からだの中を旅するイラストや模型を使って、消化のしくみを楽しく学びました。

「バナナうんちがいいんだって!」「やさしい食べると元気になるんだよ!」と、メディカルタイムの後にはそんな声が園中にあふれ、子どもたちにとっても印象深い時間になったようです。

この活動は、今後もテーマを変えて定期的に実施していく予定です。

園では、こうした活動を通して、子どもたち自身が自分の体に関心を持ち、大切にすることを育てていくよう取り組んでいきます。

今月のお知らせ

ストーリーズ更新中

Instagramでは、ひばり幼稚園の活動を毎日ストーリーズでもお届け中! ぜひみなさまご覧ください! いいね・フォローも大歓迎です!



@HIBARI_KINDERGARTEN